

2021年12月期 第2四半期連結決算発表 補足資料



シークス株式会社

2021年8月

- **2021年12月期第2四半期 連結決算概要**
- **2021年12月期連結業績予想**
- **中期経営計画の進捗状況**
- **各地でのビジネス獲得状況**
- **JDM - テクノロジーパートナーとの協業**
- **製造関連情報**
- **ESGに関する取組**
- **株主還元、格付**
- **免責事項**

・連結損益

(単位：百万円)	FY2020 上期		FY2021 上期		増減 (FY2020上期 対 FY2021上期)		為替 影響額	実質増減	
	金額	%	金額	%	金額	%		金額	%
売上高	80,234	100.0	109,470	100.0	29,235	36.4	2,742	26,492	33.0
売上総利益	6,767	8.4	10,059	9.2	3,292	48.7			
販管費	5,718	7.1	7,517	6.9	1,798	31.5			
営業利益	1,048	1.3	2,541	2.3	1,493	142.5	6	1,487	141.9
経常利益	784	1.0	2,917	2.7	2,132	271.9			
特別損益	△ 1,610	△ 2.0	0	0.0	1,610	-			
法人税等	△ 178	△ 0.2	459	0.4	638	-			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 641	△ 0.8	2,452	2.2	3,094	-			

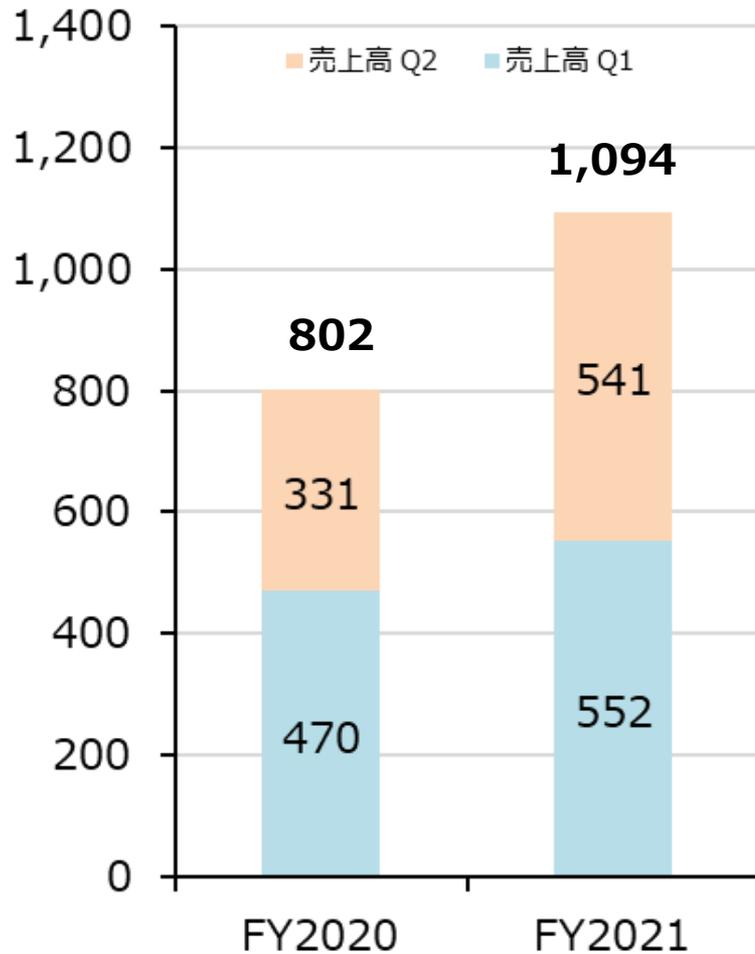
為替レート

	FY2020上期	FY2021上期
USD	108.33	107.93
EUR	119.40	129.89
HKD	13.96	13.91
THB	3.43	3.50
RMB	15.38	16.67

・連結の範囲

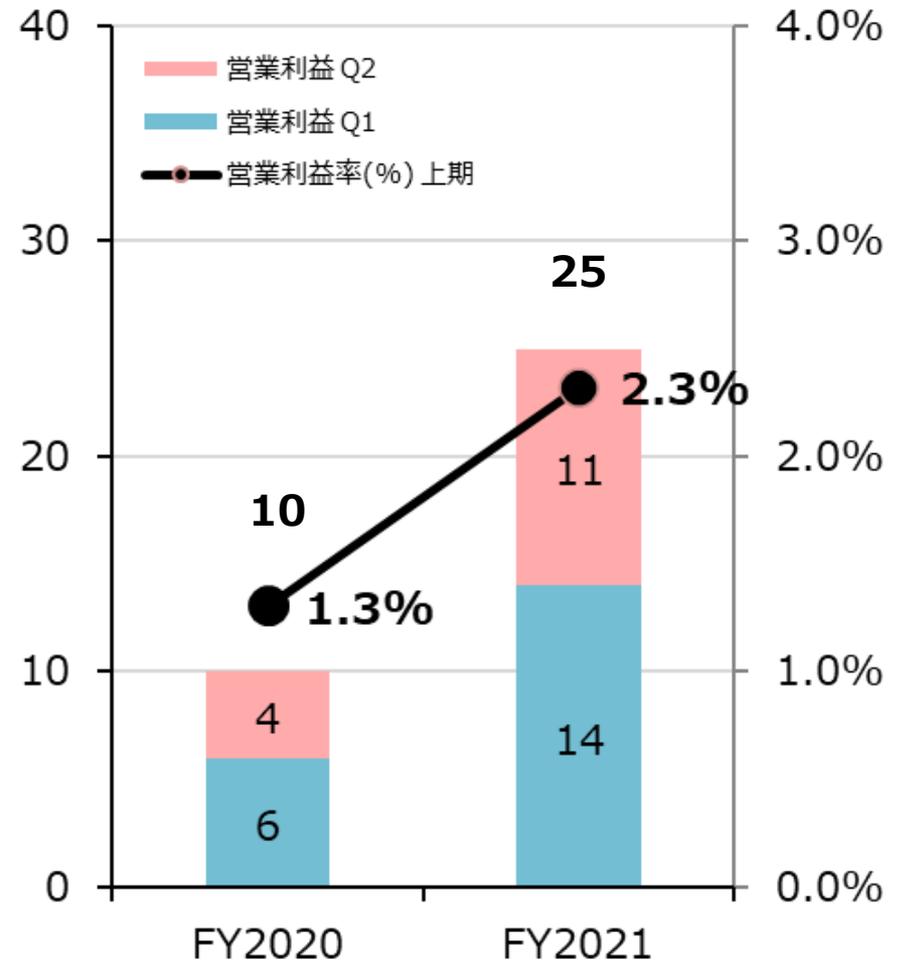
(単位：社)	FY2020	増減		FY2021
	第2四半期末	増加	減少	第2四半期末
連結子会社	22	1	1	22
持分法適用関連会社	2	-	-	2

売上高



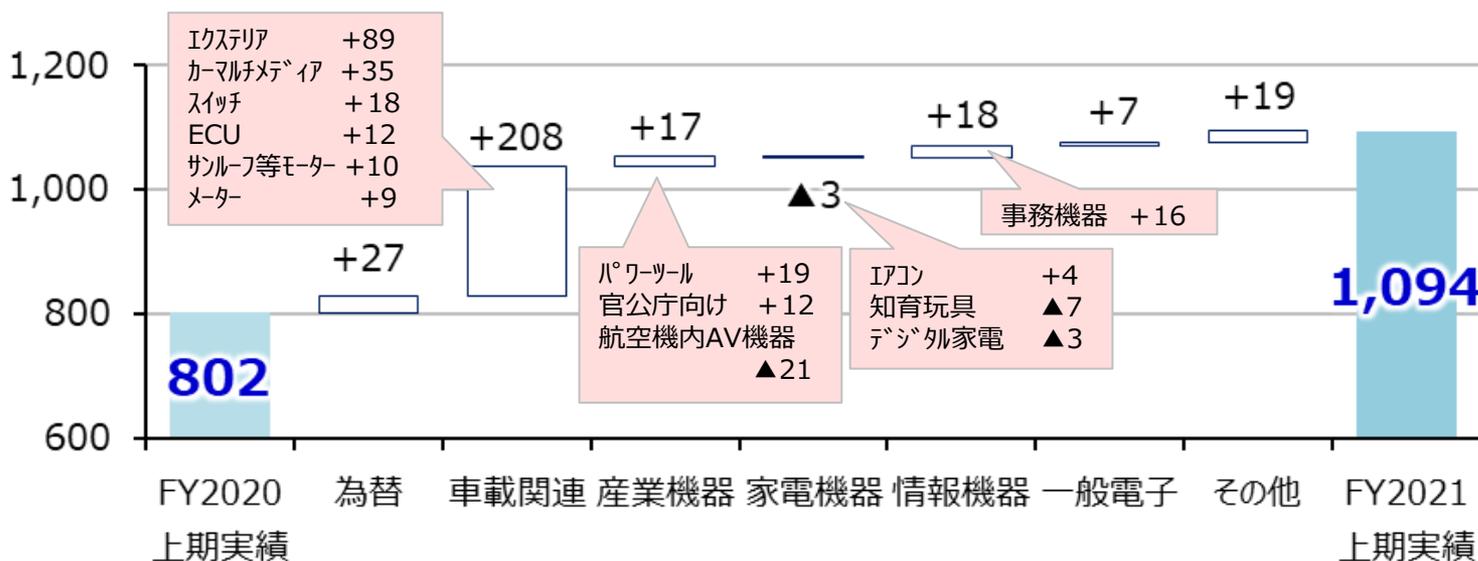
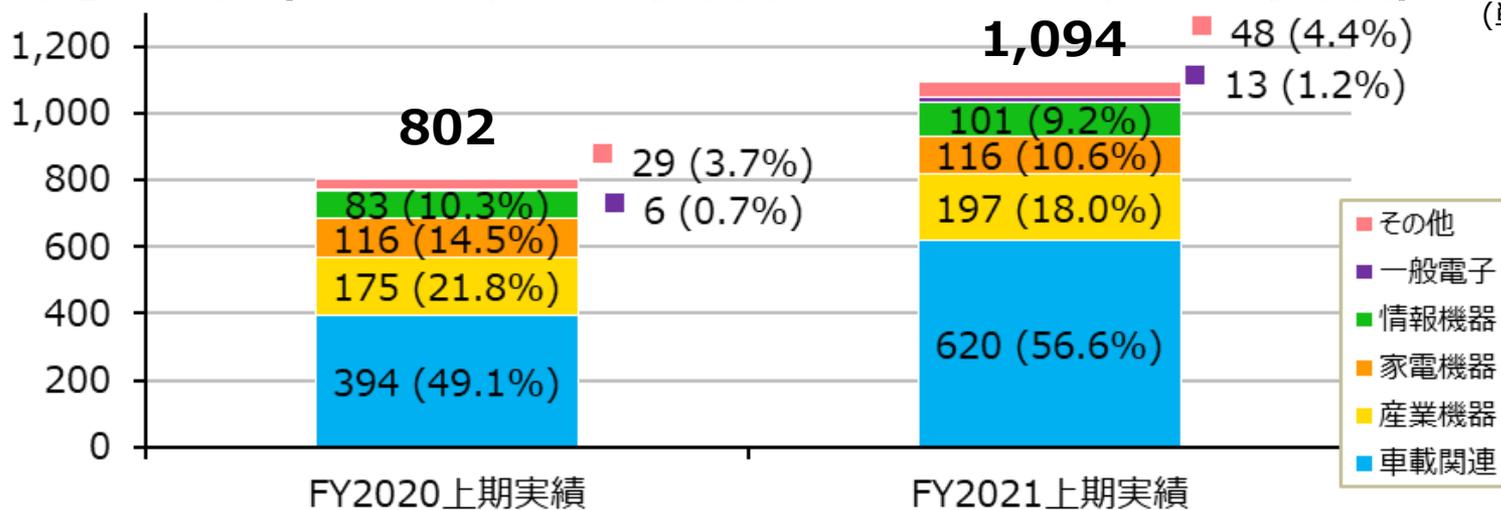
営業利益

(単位：億円、%)



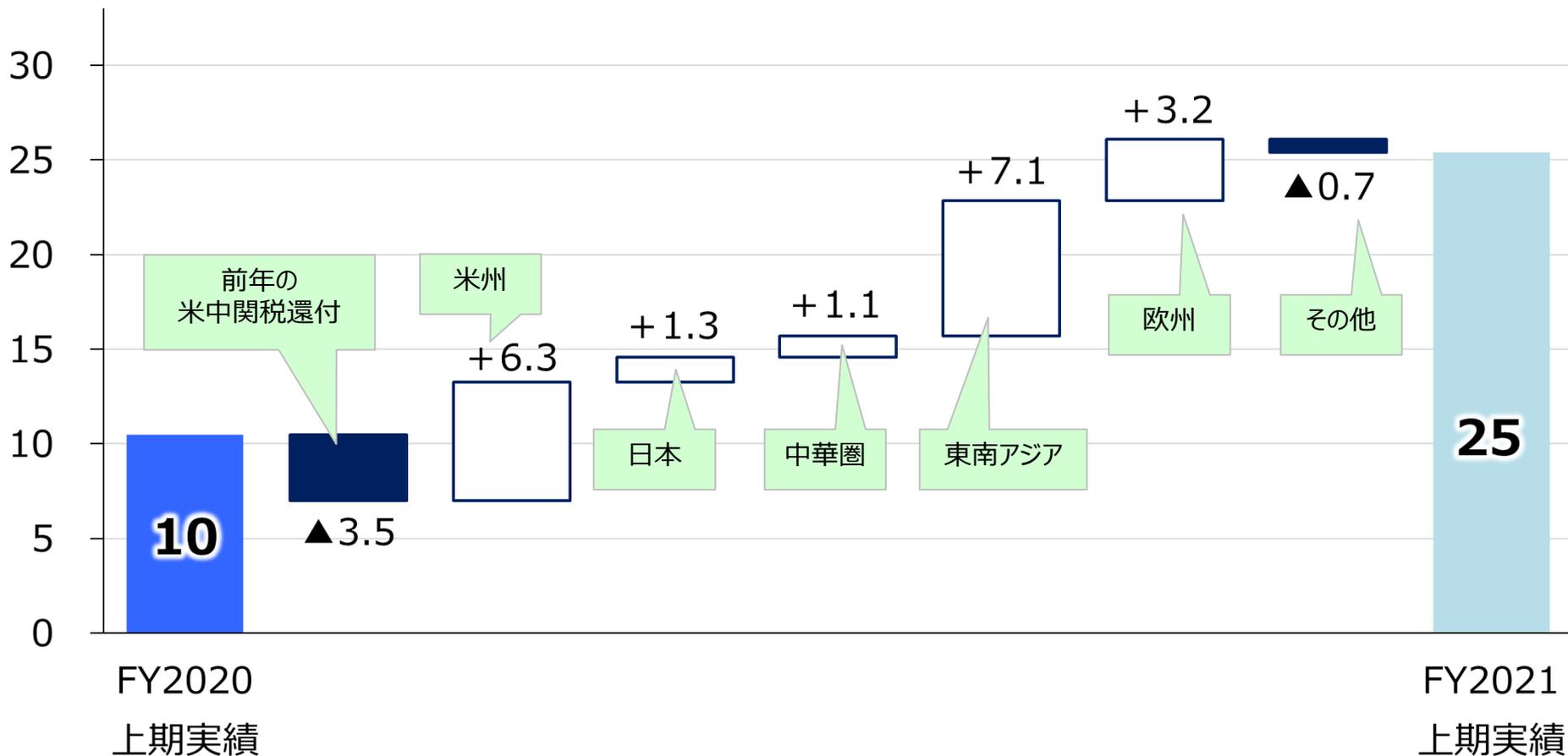
● 連結売上高（2020年上期実績 vs. 2021年上期実績）

（単位：億円）



• 連結営業利益（2020年上期実績 vs. 2021年上期実績）

（単位：億円）



• 販売管理費

(単位：百万円)	FY2020	上期	FY2021	上期	増減	
	金額	売上比 (%)	金額	売上比 (%)	金額	率 (%)
人件費	3,209	4.0	3,539	3.2	330	10.3
旅費・通信費	125	0.2	98	0.1	△ 27	△ 21.6
運賃荷造費	482	0.6	1,783	1.6	1,301	270.1
支払手数料	406	0.5	370	0.3	△ 35	△ 8.8
賃借料	182	0.2	100	0.1	△ 82	△ 45.1
減価償却費	485	0.6	538	0.5	52	10.9
その他経費	827	1.0	1,086	1.0	258	31.3
販売管理費	5,718	7.1	7,517	6.9	1,798	31.5

・営業外損益

(単位：百万円)	FY2020 上期		FY2021 上期	
受取利息		59		11
受取配当金		18		15
為替差益		-		206
補助金収入		130		88
物品売却収入		61		320
スクラップ売却益		81		85
その他		115		117
営業外収益		468		846
支払利息		196		137
為替差損		158		-
持分法による投資損失		152		3
物品購入費用		42		276
その他		182		53
営業外費用		731		471
営業外損益		▲ 263		375

・貸借対照表

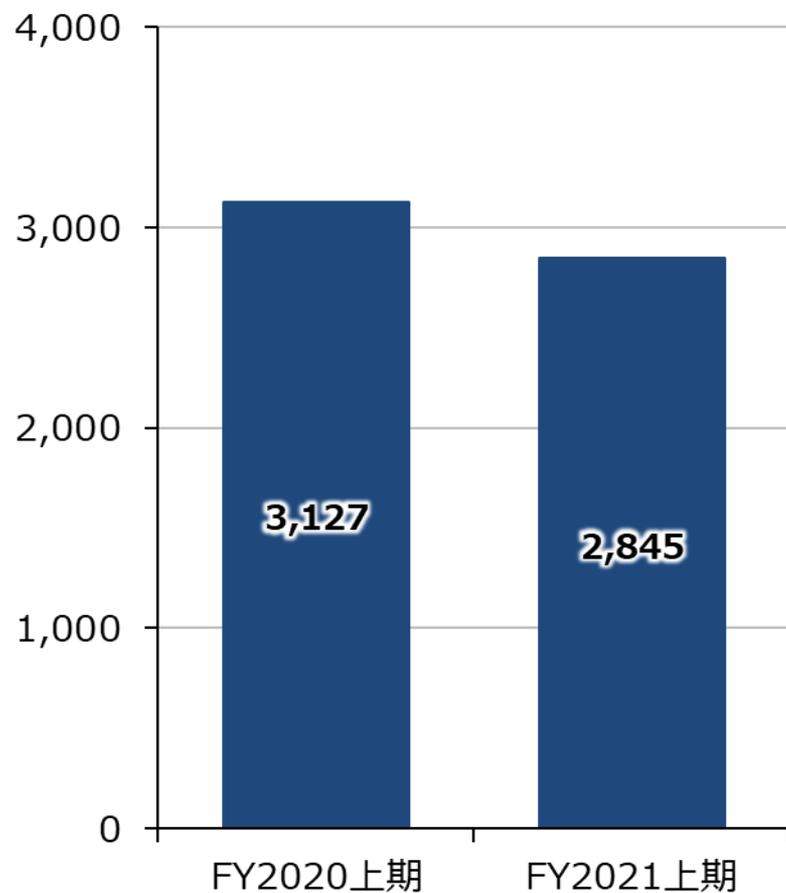
	FY2020 上期	FY2020 期末	FY2021 上期	増減 (FY2020上期 対 FY2021上期)		増減 (FY2020期末 対 FY2021上期)	
	(単位：百万円) 金額	金額	金額	金額	率 (%)	金額	率 (%)
流動資産	92,894	104,254	107,368	14,474	15.6	3,114	3.0
受取手形及び売掛金	29,897	37,057	40,983	11,085	37.1	3,926	10.6
たな卸資産	42,966	36,532	43,881	915	2.1	7,350	20.1
固定資産	40,831	40,181	42,274	1,443	3.5	2,093	5.2
資産合計	133,726	144,436	149,643	15,917	11.9	5,208	3.6
流動負債	48,479	59,855	60,097	11,618	24.0	242	0.4
買掛金	18,447	27,481	32,424	13,977	75.8	4,943	18.0
短期借入金	22,049	23,810	17,291	△ 4,758	△ 21.6	△ 6,519	△ 27.4
固定負債	30,022	28,082	26,944	△ 3,078	△ 10.3	△ 1,138	△ 4.1
社債	10,000	10,000	10,000	-	-	-	-
長期借入金	14,307	12,061	11,309	△ 2,999	△ 21.0	△ 752	△ 6.2
負債合計	78,501	87,937	87,042	8,540	10.9	△ 896	△ 1.0
純資産	55,224	56,498	62,601	7,377	13.4	6,103	10.8
(うち、非支配株主持分)	326	354	386	60	18.4	33	9.2
負債および資本合計	133,726	144,436	149,643	15,917	11.9	5,208	3.6

• キャッシュフロー

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2019	FY2020
(単位：百万円)	上期	上期	上期	通期	通期
営業C/F	1,139	△ 1,759	2,185	8,945	13,280
投資C/F	△ 5,845	△ 3,601	△ 2,185	△ 9,602	△ 6,034
財務C/F	860	2,698	△ 9,089	2,923	1,291
現金及び現金同等物	8,848	12,098	15,059	15,035	22,968
キャッシュフロー対 有利子負債比率（年）	-	-	-	4.0	3.2
インタレストカバレッジレシオ （倍）	5.9	-	16.7	18.3	34.9

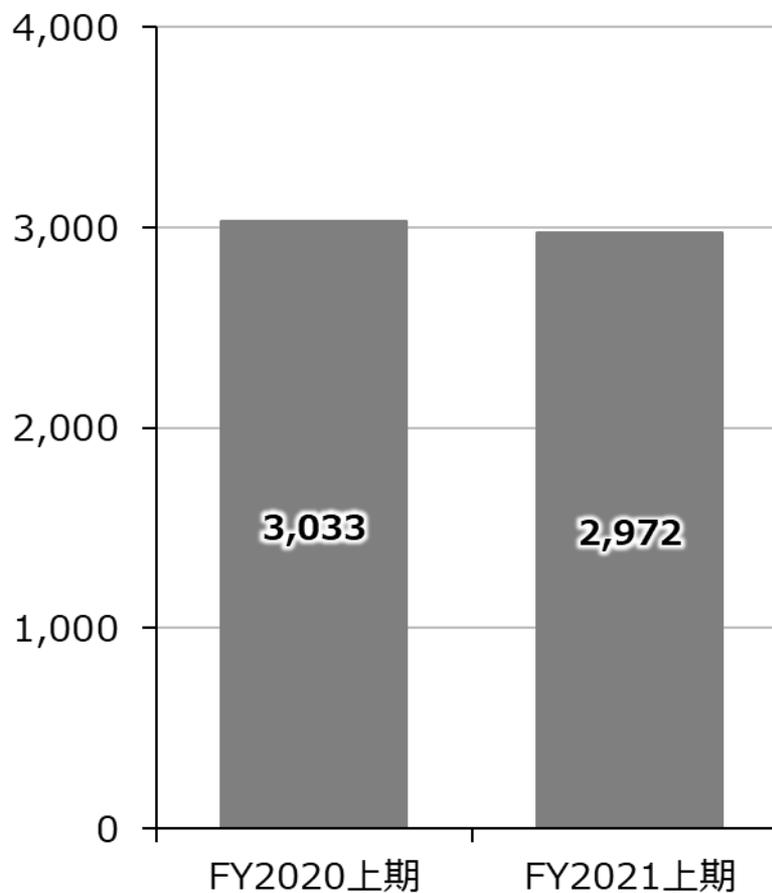
● 設備投資

(単位：百万円)



● 減価償却費

(単位：百万円)



• 2021年12月期連結業績予想

(単位：百万円)

	FY2020 実績		FY2021 予想		FY2020 vs. FY 2021	
		%		%	金額	率 (%)
売上高	181,598		210,000		28,401	15.6
営業利益	4,452	2.5	6,800	3.2	2,347	52.7
経常利益	4,444	2.4	6,600	3.1	2,156	48.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,724	0.9	5,700	2.7	3,976	230.6
1株当たり 当期純利益	36円48銭		120円61銭		84円13銭	

※2021年2月に公表の当初業績見通しより変更しておりません。

中期経営計画の進捗状況

目標	KPI	目標値 (2023年)	2021年Q2時点
大手グローバル 企業との 取引拡大	非日系顧客との 取引拡大	連結売上高の25%	連結売上高の16% 非日系顧客向けビジネスの量産が進む
	テクノロジーパートナーとの アライアンス強化	連結売上高50億円	官公庁向けが大幅増加し2023年にむけ新規 受注が進む
	医療機器分野の 取引拡大	連結売上高50億円	コロナ影響により前年並みも 今後商材の開拓をグローバルで進める
ビジネスでの 脱炭素社会 への貢献	非コモディティ分野 (車載+産業)の強化	連結売上高の85%	連結売上高の75% 航空機内AV機器減少も車載分野で前年比大幅増加 パワーツール関連ビジネスも好調
	CASE関連の 取引拡大	連結売上高350億円	欧州系中心に堅調に増加中 EV向け中国エリア、米国エリアで案件増加
	バッテリー関連の 取引拡大	連結売上高100億円	パワーツール用バッテリーパックが増加 車載向けも今年から開始
ダイバーシティ 経営の推進	ローカルマネジメント比率の向上	80%	73.4%
	女性幹部比率の向上	50%	31.2%

～コロナ後の経済回復を見据えた動きが活発化～

- メキシコ、欧州、中国、ASEANで引き続き、欧州系からの車載関連機器向けの需要が拡大。2022年から各地で立ち上げ開始。
- 上海、東莞、メキシコで今後、新規顧客（日系）大手とのビジネスを立ち上げる。
- インドネシアカラワンで車載関連機器顧客からの需要への対応として第2棟を建築中。9月竣工予定。
- 省人化ニーズ、コロナ禍への対応のため警備ロボットなどの需要が拡大。

光学関連、センサー関連

光学レンズ、IRセンサーなど



医療機器、車載機器、スマートビルディング、セキュリティ、車載、ロボティクス、分析装置などへの活用を提案

通信・IoT関連

ソフトウェア、モニタリングシステムなど



通信機器、無線化、モバイル化、監視システム、長距離無線、FA、ロボット、スマートハウスなどへの活用を提案

ロボティクス関連

AGV、モーター制御など



医療機器、各種搬送機器、警察車両などへの活用を提案

原材料・素材関連

印刷インキ、機能性材料など



エレクトロニクス、ケミカル分野などへの活用を提案

エナジーマネジメント関連

バッテリーパックなど



バッテリーパック、充電器、DC-DCコンなどへの活用を提案

当社ウェブサイトにご各パートナー企業の情報を掲載しております

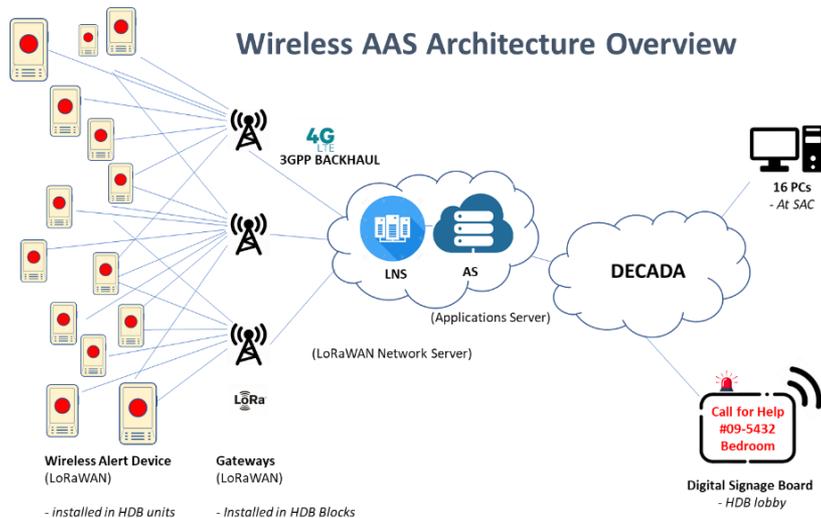
http://www.siix.co.jp/business/new_products_list/index.html

iWOW Technologyとの取り組み ～無線緊急コールシステム開発製造～

- 政府技術庁（GovTech）への入札案件を落札

シンガポールの高齢者向け公団住宅の各部屋に設置する無線緊急コールシステムの開発およびデバイスの製造に関する案件を落札いたしました。

従来の有線システムの配線設置やメンテナンスに時間がかかっていた問題を解消しワイヤレス通信や録音機能を追加することが可能となり、居住者の緊急事態や救護要請を24時間体制でモニタリングし察知することが可能となります。



サカティンクスとの取り組み ～プリントドエレクトロニクス～

- サカティンクス、ワンダーフューチャーコーポレーションとの3社協業活動



Orient Technologyとの取り組み ～エナジーマネジメント～

- バッテリーマネジメントビジネス拡大に向けた合弁会社の設立

ビジネスを通じた脱炭素社会への貢献の観点から、バッテリーパックの設計・開発・製造技術のノウハウをもつテクノロジーパートナーであるOrient Technology社と合弁会社を設立し、そのノウハウの構築とバッテリー関連のEMSビジネスの獲得やセルメーカーとの関係強化を推進してまいります。

様々なマーケットでのキーデバイスとなる

車載関連機器
分野

政府支援策等により
EV化が拡大

医療機器分野
産業機器分野

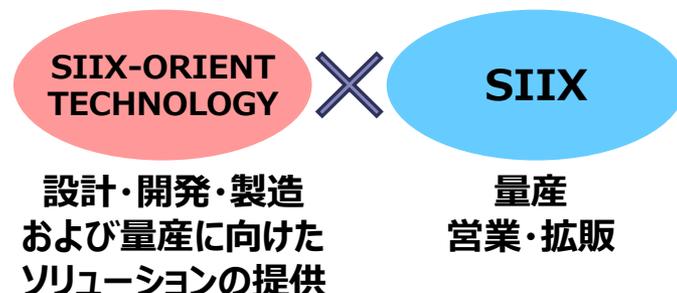
電動化が加速



**グローバルベースでのバッテリー
パックを提供を目指す。**

合弁会社 SIIX-ORIENT TECHNOLOGY PTE.LTE の概要

所在国	シンガポール
資本金	100,000シンガポールドル
主な事業内容	バッテリーパック設計・開発・製造および量産に向けたソリューションの提供
日程	2021年8月12日 会社設立



当社ウェブサイトに関連情報を掲載しております。

http://www.siix.co.jp/ir/pdf/news_210811_1.pdf

・製造マネジメント力の強化

Management
Leadership

横串情報
共有化

グローバル
スタンダード

・グローバル人材強化
・チームワーク強化

シークス
ものづくり改革

Human
Development

e-Manufacturing

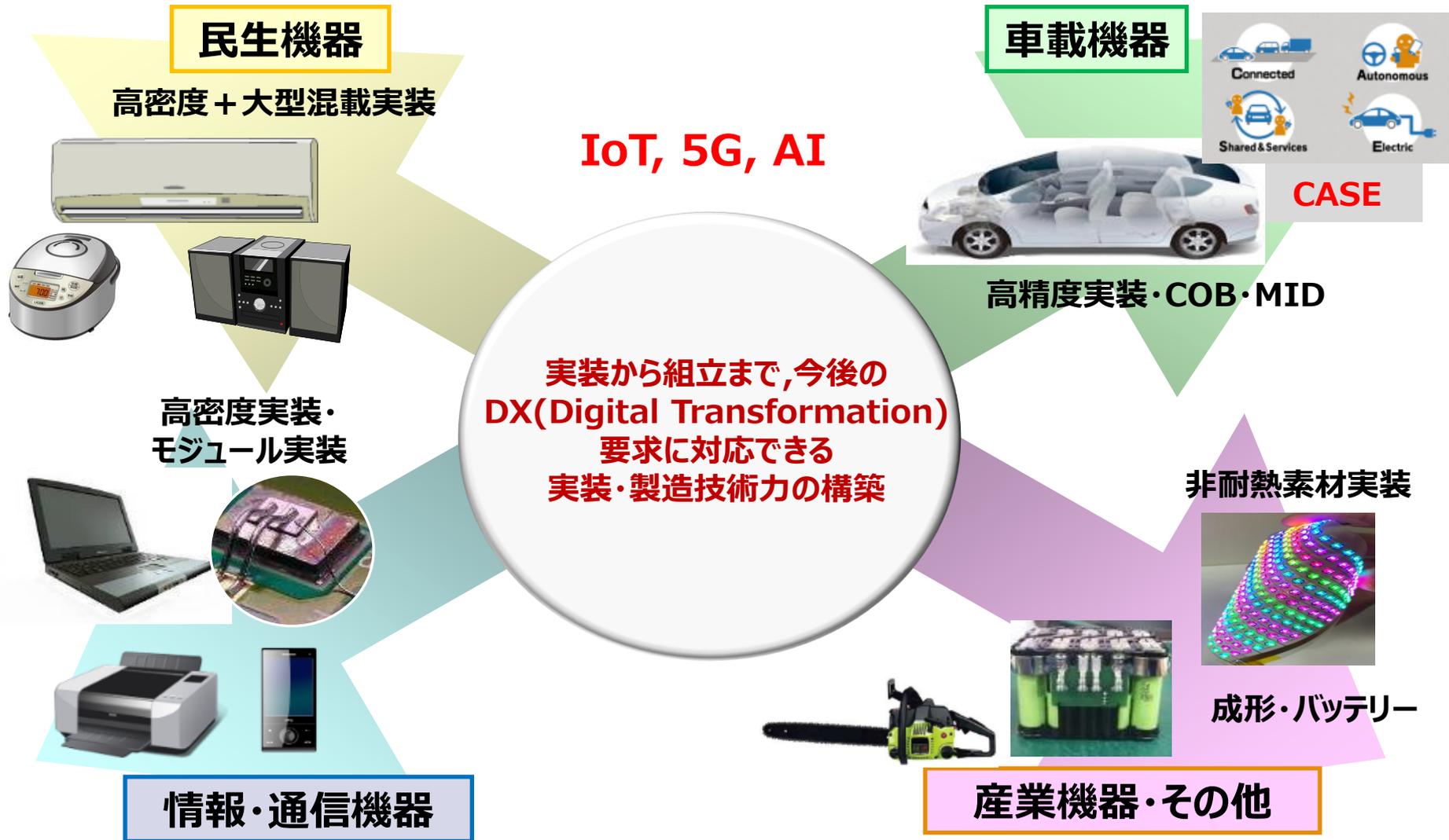
Advanced
Technology

・グローバルData
・ネットワーク網

Robust
GENBA

- ・実装技術強化
- ・製造技術力強化
- ・先端技術導入

- ・強い現場の実現
- ・製造効率・品質・教育強化



■ DX(Digital Transformation)に対応した製造・品質技術力の強化

- ・先取り要素技術構築の推進（新規事業、新工法への対応力強化）
- ・キーデバイス、キーテクノロジーパートナーとのコア技術協業による顧客対応力強化
- ・自動化の更なる強化と生産システムへの適用(Smart Factory化推進)

■ Tier1品質体制構築とガバナンス強化、情報共有と活用、BCP強化

- ・品質ガバナンス強化、改善ノウハウ等の共有、活用の迅速化、横串強化
- ・グローバル教育体制の構築とトレーニング強化

SMT 157 Line

+ 5 Line (前期比較)

Towards Best QCDS for CASE

成形機72台

+ 3台 (前期比較)

次世代実装プロセス技術
(Next SMT Process Technology)

自動化、検査技術
(Automation)

カメラモジュール技術
(Camera Module)



LED高精度実装技術・COB・MID
(High Accuracy Mount)

高密度実装技術
(High Density Mount)

PCBA+成形技術
(PCBA+Injection)

“グローバルビジネスオーガナイザー” のシークスだからできる

豊富なマルチプロセス製造技術と製造 1 2 拠点の
製造・技術・品質グローバル横串マネジメント

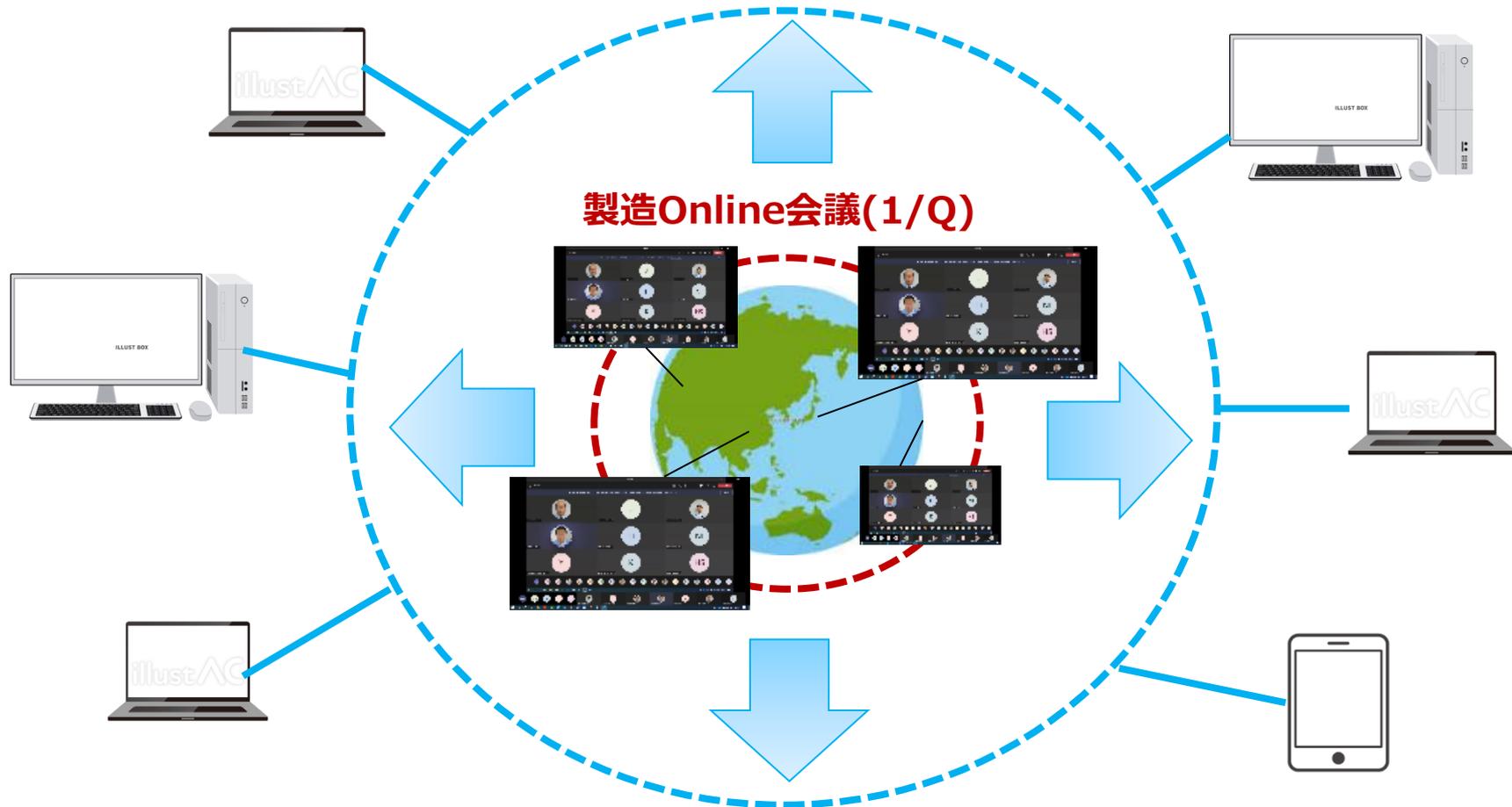
分類	シークス内での主な自動化取り組み内容
環境	温湿度管理・ESD管理
倉庫	運搬・部品管理・棚卸・トレース・清掃
SMT	ラベル/シール・はんだ供給 ステンシル交換・検査(目視)・ICT 生産プログラム・品質管理・機種切り替え 精度測定・画像検査AI活用・トレース
ASSY	ラベル/シール・防湿剤塗布・塗布検査 基板分割・手挿入・目視検査・パレット搬送 はんだ付け・組立・溶接・ポッティング ネジ締め・トレース
検査	ICT・FCT・目視検査
全般	機種切り替え・トレース・メンテナンス 運搬
出荷 検査	トレース
出荷	梱包・運搬・トレース
その他	ネジ整列機・マーキング・リードカット グリス注入・成形品・プラスチック部品清掃

**In~Outまで、全工程での自動化実績と
更なる改善・加速化を推進。
他拠点への同時横串展開も実施中。**



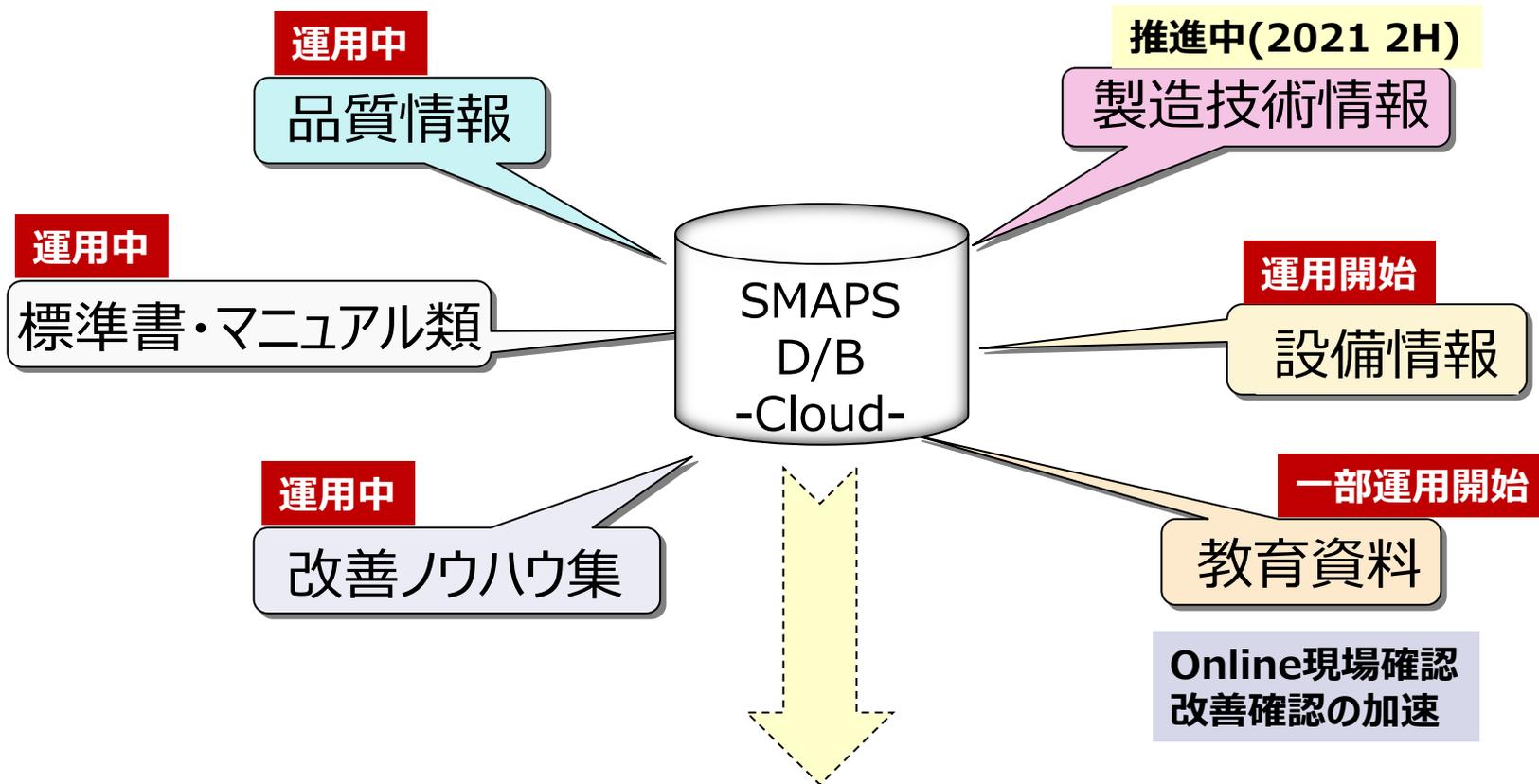
シークス中国工場自動化ライン例

情報展開の更なるスピードアップ化と効率化

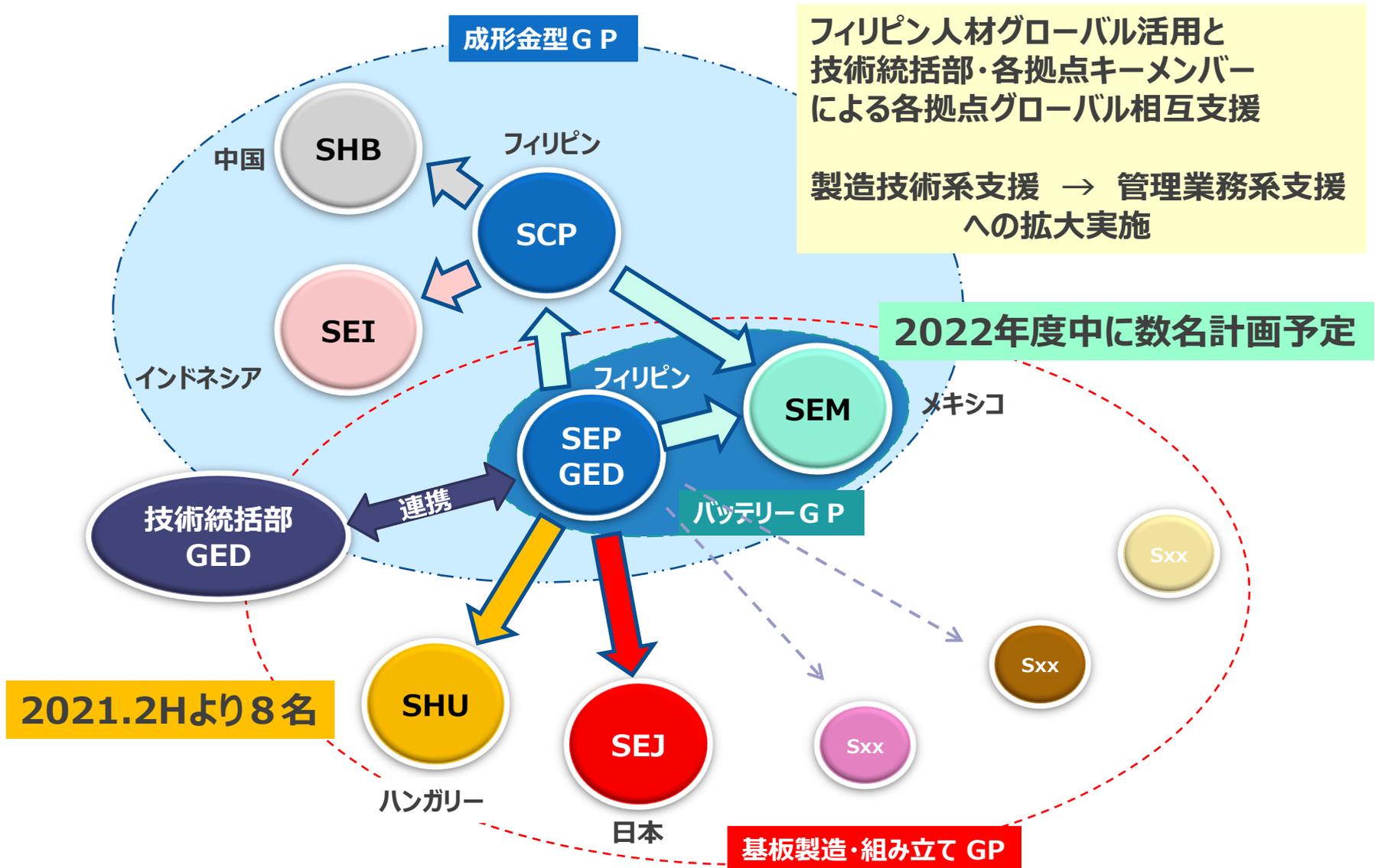


品質方針・改善、製造技術、製造効率改善、自動化、教育向上など
フリーディスカッションするOnline会議に加えて、いつでも課題、情報を
共有できるコミュニケーションToolで即時展開と解決の迅速化を実施。

SMAPS (Siix Manufacturing Platform System)



製造技術情報を現場でReal Timeに活用する仕組みづくり





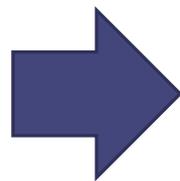
①中国 上海工場(2021.1月稼働開始済)

<CO2排出量実績>

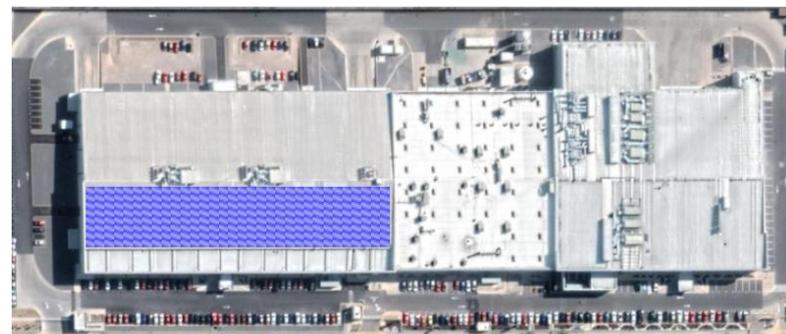
2020 実績 0.34t/百万円

2021 1H実績 **0.30t/百万円**

(2020 CO2排出係数使用による暫定値)



②インドネシア工場(2022.1月稼働開始予定)



③メキシコ工場(2022.2月稼働開始予定)

④タイ工場(検討開始)

Environment

原単位CO2(売上高百万円あたり)排出量削減

*2020年時点のCO2排出係数使用による暫定値

上期末現在

0.30t*
〔対前年比〕
11%改善

目標値

対前年削減
(参考)
2020年末: 0.34t

〔太陽光パネルの設置〕

- ・上海工場にて設置、2021年1月より稼働開始
年間1,817.5tの総排出量削減効果を見込む
- ・9月に竣工予定のジャカルタ工場にも設置準備中
- ・順次、メキシコ、タイへの設置を検討

Social

ローカルマネジメント比率

全拠点の幹部*におけるローカル幹部の比率

上期末現在

73.4%

目標値

80%

女性幹部比率

*幹部：マネージャー以上

全拠点の幹部*における女性幹部の比率

上期末現在

31.2%

目標値

50%

Governance

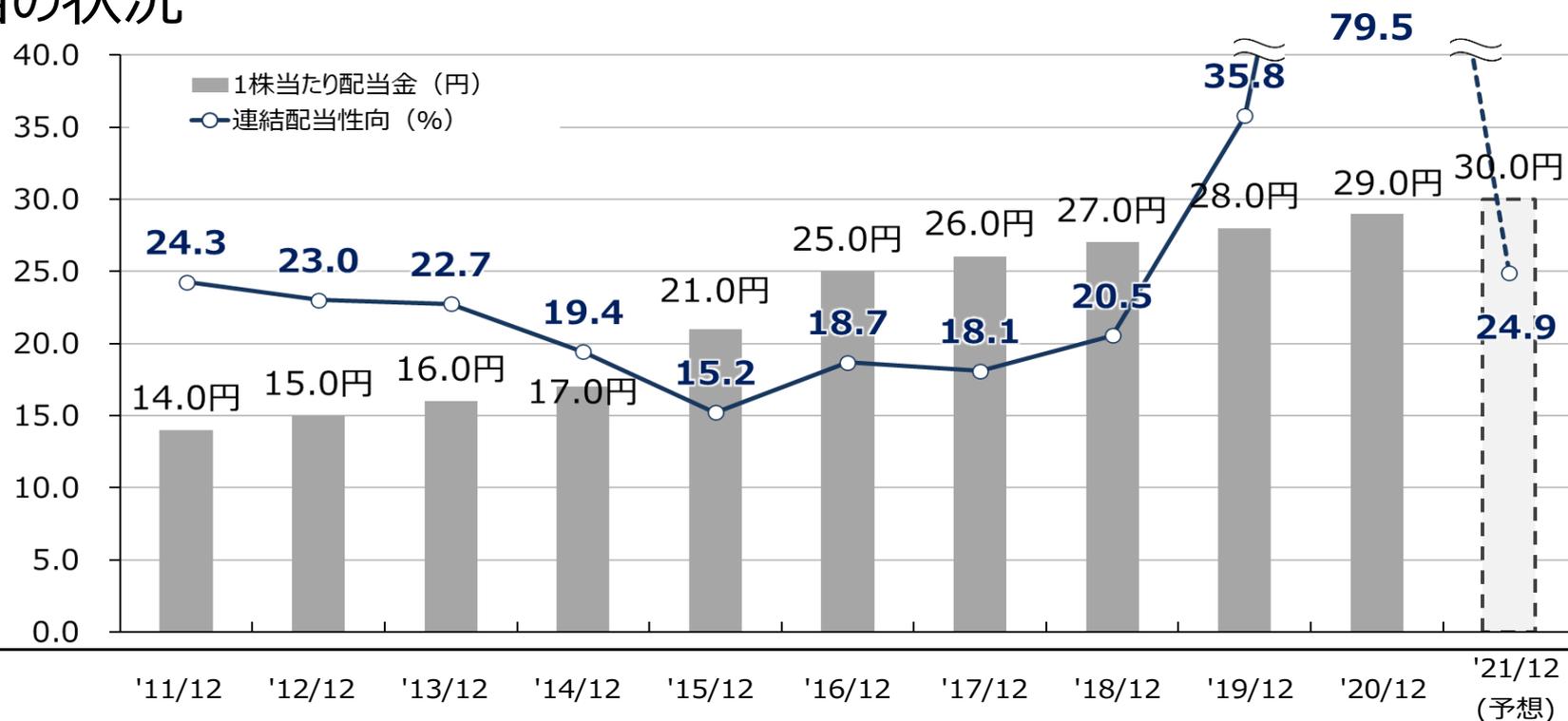
改訂されたコーポレートガバナンスコードへの対応

- ・スキルマトリクスの開示、独立役員の数、指名報酬諮問委員会の独立性、議決権行使のための電子プラットフォームの設置等に関しては既に対応済み
- ・ダイバーシティに関しても、従来から女性幹部比率、外国人幹部比率を当社独自のKPIとして開示している
- ・グループ幹部全体が参加するの戦略会議にて今年もコンプライアンスの啓蒙を実施

市場再編関係

- ・プライム市場への上場維持基準に適合している旨の通知を受領済み。今後東証が定めるスケジュールに基づき申請行うとともに、求められるガバナンスを強化していく

• 配当の状況



1株当たり配当金 (円)	14.0	15.0	16.0	17.0	21.0	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
連結配当性向 (%)	24.3	23.0	22.7	19.4	15.2	18.7	18.1	20.5	35.8	79.5	24.9

• 長期信用格付の継続

2021年8月2日付で、日本格付研究所(JCR)より通知があり、引き続き長期発行体格付についてA-(安定的)を維持しております。

- 当資料に掲載されている情報は、シークス株式会社（以下、当社）の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、当資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、当資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 当資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 当資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。